

京都教育大学実地教育用学習指導案(細案)の標準形式【中学校・高等学校版】

第1学年国語科学習指導案

指導者(所属)【所属には〇〇領域専攻などを書く】〇〇〇〇
(指導担当教員 〇〇〇〇)

1. 日時 〇〇年〇月〇日(〇曜) 第〇校時(〇〇:〇〇~〇〇:〇〇)
2. 学年・組 第1学年〇組 計〇〇名
3. 場所 第1学年〇組 教室
4. 単元名(または, 題材名) 「まちの豊かさとは何か」〇〇出版 P〇~P〇
筆者 山崎 亮
5. 単元(または, 題材)の目標
 - (1) 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。(知識及び技能)(1)オ
 - (2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。(思考力、判断力、表現力等)C(1)ア
 - (3) 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等)B(1)ウ
 - (4) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。(学びに向かう力、人間性等)
6. 単元(または, 題材)について
 - ①教材観 「まちの豊かさとは何か」という文章は、現代における人間関係とまちにおける「豊かさ」の変化と差異について論じている。文章の構成は、五つの意味段落に分けられ、第一、二段落では、建築家としての自分が感じたワークショップに対する見解の変化やコミュニティの意義について論じている。また、第三、四段落では、人の豊かさとそれにつながる人間関係について、建築家としての視点も交えながら展開している。さらに第五段落では、まち

づくりに対して、個人の単位の豊かさでは重要視されている人間関について軽視されている現状に対して、筆者の主張を述べている。

この単元の文章は、前の段落で話題となった内容が、次の段落の展開に関わるという構成となっており、筆者の論点を確認しながら、読み解くことができる教材である。

②生徒観 1年〇組の生徒は全体としてシャイな生徒が多く、導入時の発問に対して話し合ったり、ペアワーク等で自分の意見を交流し合うことに少し抵抗を感じる者もいる。また、筆者の主張を踏まえた意見を書き出したり、文章にまとめたりする活動に時間がかかる生徒もいるが、教師からの助言を活かしながら、全体的に真面目に取り組むことができるクラスである。

③指導観 今回の授業では、筆者の意見やそれぞれの段落のつながりを読解しながら、そこで得られた考えを自身の意見として交流するなど、積極的な授業への参加を促したい。

また、筆者の主張を的確にノートに書き出させたり、文字数を決めた作文を書かせるなど、記述力を養う言語活動を設定したい。

7. 単元（または、題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけながら、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解した上で、「まちの豊かさとは何か」を読む中で、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ)	①「まちの豊かさとは何か」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア) ②自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ)	①言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

8. 指導と評価の計画（全五時間）

時	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法
一	・筆者の紹介と段落分け ・「豊かさ」についての考え方に注意しながら、「建築家になって～と目の当たりにしたので	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している (知技)

	<p>ある」(教科書P〇～P〇・〇行目)までの読解を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワークショップ」での経験を通して、コミュニティに対する筆者の考え方の変化について読み取り、ノートにまとめる ・「コミュニティー」について生徒間で意見を交流させ、その内容をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容や構成、論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握している (思判表) ・課題について考え、自分の意見を伝えようとしている (主)
二	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと重要語句の確認 ・「ワークショップが～考えるようになった」(教科書P〇・〇行目～P〇・〇行目)までの読解を行う ・段落の要旨を生徒間で、まとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている (知技) ・文章や図表に含まれている情報と関連づけながら、文章の構成や論理の展開について、ノートにまとめている (思判表) ・まとめた内容をもとに、生徒相互に考えを深めようとしている (主)
三	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと重要語句の確認 ・「豊かさとは何か～デザインする必要がある」(教科書P〇・〇行目～P〇・〇行目)までの読解を行う ・「自分豊かさ」についての考え方の変化によって、「デザイナーの仕事」がどう変化したかを読み取り、その内容をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている (知技) ・時代の中での「豊かさ」の移り変わりを確認し、ノートにまとめている (思判表) ・まとめた内容をもとに、考えを深めようとしている (主)
四	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと段落のつながりを確認 ・「コミュニティにおける～集まりだといえよう」(教科書P〇・〇行目～P〇・〇行目)までの読解を行う ・「お釣り」が残る関係について、生徒間で意見を交流させ、その内容をまとめる ・段落の要旨をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとにある重要語句や論点の流れを理解している (知技) ・「コミュニティーにおける人間関係」を図示しながら、ノートにまとめている (思判表) ・まとめた内容をもとに、考えを深めようとしている (主)
五 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと段落のつながりを確認 ・「たまに～はずなのである」(教科書P〇・〇行目～P〇・〇行目)までの読解を行う ・筆者が「活性化」という言葉を好まない理由を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとにある重要語句や論点の流れを理解している (知技) ・「経済的な成果」と関連づけて、自分の考えをノートにまとめている (思判表)

・本時で学んだ内容を踏まえ、人生やまち、今後の生活における「豊かさ」の捉え方について考える	・単元で学習した内容を踏まえ、単元を振り返ろうとしている (主)
---	-------------------------------------

9. 本時の学習

① 本時の目標

筆者の主張する「豊かさ」に対する捉え方に注意しながら、第五段落を理解する。

② 本時について

1990年代前半のバブル崩壊以降に起こった一般的な「豊かさ」の捉え方と、経済の活性化に偏重したまちづくりにおける「豊かさ」の捉え方との対比をきちんと読み取り、これからの時代における「豊かさ」について考える。

展開時の発問をレベル4段階(L1)～(L4)に設定しておき、事前に生徒に提示する。

(L1)は、答えを近くから1つ抜き出したり、簡単な知識を問うもの。

(L2)は、答えを遠くから、1つあるいは複数抜き出したり、少し専門的な知識を問うもの。

(L3)は、答えを抜き出すのではなく、要約したり、推測したりするもの。

(L4)は、感想や意見や体験など、答えの決まっていないもの。

③ 本時の展開

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援 (教師の活動)	評価規準 評価の観点・方法
導入 5分	・前時の振り返り	・重要語句や前時の「お釣りが残る関係について、生徒間での交流を指示する	知識・技能(L1) 教科書・ノート・辞書
展開 3 8分	・第五段落の通読 ・段落のつながりを確認 ・筆者が「活性化」という言葉を好まない理由を理解する	・まちづくりの「豊かさ」について、最終的な筆者の主張を読み取らせる	思考・判断・表現(L2)
	まちの豊かさと今後の生活について、自分に「できること」を考え、発表する		

	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの「豊かさ」に対する考えを図示しながら、自分の住むまちや地域の「豊かさ」について、ノート等にまとめさせる ・まとめた内容をもとに、生徒間で考えを深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いに対して、個人で考えさせる ・自身の考えをまとめ、生徒間で交流をさせる 	<p>ノート</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 (L4)</p>
まとめ 7分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のポイントを確認する ・単元の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティに対する「現代の価値観」について考える ・自身の生活に活かそうとする態度の育成につながるよう、授業をまとめる 	<p>教科書・ノート</p>

10. 単元の振り返りシート

1年()組()番 氏名 _____

今回の単元や学習内容について、自己評価を行なってください

参考 評価基準	できた	ふつう	できなかった
	5 ・ 4	・ 3 ・ 2	・ 1

単元名「まちの豊かさとは何か」 筆者：山崎 亮	自己評価 (○印をつける)
・ 授業前の準備や予習がしっかりできた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 漢字や語句を正しく理解し、文章を読むことができた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 授業ノート等を工夫してまとめることができた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 自分の意見をまとめ、話すことができた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 他人の意見をしっかり聞き、交流することができた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 授業の内容 (課題) に沿って、意欲的に取り組むことができた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
・ 授業の振り返りを行い、復習がしっかりできた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
<p>今回の学習に対する総合評価 (○印をつける)</p> <p>5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p> <p>その理由 →</p> <p>△ 課題点 (わからないこと、できていないこと、克服のために何をするかを記述しよう)</p> <p>あれば →</p>	